

「まちの廃棄物を新素材のアートに!!」
素材デザイナーが地域から出る廃材を使った滞在制作に参加

捨てる神あれば、拾う神あり展



関わる人の主体性向上をミッションに掲げる株式会社On-Co(本社:三重県桑名市、以下 On-Co)が運営するアップサイクルコミュニティ「上回転研究所」は、10/15～11/27に長野県辰野町のトビチ美術館にて開催される「捨てる神あれば、拾う神あり展atトビチ美術館2022」(主催:一般社団法人〇と編集社、以下〇と編集社)に出展します。

出展に伴い、素材デザイナー村上結輝(上回転研究所所長)が10/8～10/17の10日間滞在。まちから出る廃棄物を使った制作・展示を行います。アップサイクルアートで、地域資源の再発見・再編集する機会へと繋がります。

■空き家活用が進み共創人口が増える辰野町

少子高齢化や人口減少などにより増え続けている空き家。2040年には空き家率が40%を超えると予測され、深刻な社会問題となっています。

長野県辰野町(以下辰野町)は、空き家活用促進と新たな人流創出に向けて、〇と編集社筆頭に官民連携で取り組む「空き家バンク」(登録件数208件/成約率73%)や、シャッターもまちの個性として育む「トビチ商店まち」などを通して、関係人口と共創人口の増加を進めています。

■空き家を美術館と見立てる「トビチ美術館」

トビチ美術館は、「暮らしとアートがより身近になること」を目指し、〇と編集社が2021年から10年計画で取り組んでいるプロジェクト。空き家や空き店舗を美術館とみだてて開催されます。

上回転研究所は、トビチ美術館の出展条件が「地域の空き家から出る古材や不要品等を利用したアート製作を行うこと」であり「空き家の片付けや認知拡大、空き家の活用や新たな人流の創出に繋げる」というコンセプトに共鳴し、出展することとなりました。



↑地域の空き家から回収した不用品等



↑改装時に出る廃棄物

■上回転研究所による展示

辰野町にて発生する廃棄物を新素材に転換の上、アート製作を行います。廃棄物の回収から製作過程は映像化すると共に、ワークショップ等の開催も予定です。

【狙い】

- ・廃棄物をまちを巻き込みながら集めることで関係人口と共創人口を増やす
- ・まちの廃棄物が素材に変わる過程に触れてもらうことで、地域資源に対して価値観を換えるきっかけを創出

【製作素材】

- ・空き家の解体を行い、発生する廃石膏ボードを資源に素材「resecco」を製作します
- ・コーヒー店からコーヒーかすを回収し、素材「カフェオレベース」を製作します



■名称「捨てる神あれば、拾う神あり展 at トビチ美術館 2022」

- ・開催期間：10/15(土)~11/27(日) (村上の滞在制作は10/8~10/17)
- ・会場：長野県上伊那郡辰野町辰野1705-1 近隣の辰野町商店まちの7カ所
- ・公式サイト：<https://tobichi.jp/>
- ・料金：無料
- ・出展アーティスト：村上結輝 | 一瀬大智 | 新井風馬 | Debouzie Karine | 他

捨てる神あれば、拾う神あり

2022 10.15 [土] | 11.27 [日]

トビチ美術館 2022

Artists: 新井風馬 | 一瀬大智 | 金井一記 | 久場雄太 | 島田佳樹 | 千田泰広 | 村上結輝 | DEBOUZIE Karine | 高相拓己

地域の空き家から出てきて、捨てられてしまった古い道具、道具などの品々。それらを集めて、「空き家の宝」と呼称し、再び光を当てる。商店街エリアを美術館にみたくて、空き家・空き店舗を会場に国内外のアーティストの手で空き家の魅力を再び日常に届けたい。世界中からネット上のアートブックが大会。日本でどこで見られないアートブックも。アップサイクルによって、地域にあるリソースを再発見・再編集する1ヶ月。

トビチ美術館 SNS アカウント: facebook, instagram

開催場所：長野県上伊那郡辰野町辰野1705-1 トビチ商店街(下級商店街内)

入場料：無料

開催時間：24時間(一部8:00-20:00)

主催：とびち創業社 | 一般社団法人とびち創業社

後援：辰野毎日新聞社 | 中日新聞社 | 長野毎日社 | 市川新聞グループ | 市川タイムズ | LCV | SBC | 辰野放送 | NBS | 長野放送 | TBS | テレビ信州 | 長野毎日放送 | NHK | 長野放送 | 辰野町 | 辰野美術協 | 辰野町職労会 | 辰野町商工会

支店：信州アーツカウンシル(一般社団法人長野県文化振興事業団) | 令和4年度文化庁文化芸術振興補助金 | 大分県

辰野美術館の「誰かふるさと展」同時開催

商店街の空き店舗のショーウィンドウや、お店の空きスペースを使った期間限定美術館

トビチ美術館MAP

2022年10月15日(土)~11月27日(日)

1 & garage 金井一記 / 久場雄太

2 旧安藤木村 新井風馬

3 gallery tooo 1F / B1 村上結輝

4 プラザーミシン DEBOUZIE Karine

5 旧桑澤邸 一瀬大智

6 旧吉江邸 島田佳樹

7 サンスペース白木屋 千田泰広

アートブックプログラムについて

「空間の気味化」と「感性感覚の覚醒」をテーマに作品を制作。政府を中心に、美術館、アパレルなどにおいて、全国各地の美術館、展示に数多く参加。Artful 習得の他、9人アートアーティスト(2020)、芸術家のタイ、フェスティバル Fête des Lumières(リヨン、2022)、ヘルンハウゼン工芸賞 Kunst+Stipiel(ノルウェー、2020)、International Light Art Award(ベネチア、2019)、Wunderspaces(2019) 金賞受賞。

1999年 早稲田大学理工学部 創造工学専攻 建築学専攻 修士号

1999年 神奈川生まれ、建築家としてプロダクトの制作を行う。

■今後の展開

〇と編集社との連携は、2022年7月に辰野町が町内に1200件程存在するとされる潜在的空き家の活用促進を目的に、On-Coが運営する「さかさま不動産※」を導入したことを機に始まりました。

今後も共創人口を増やすと同時に、挑戦を応援できるまちづくりに向けて連携を強めて参ります。
※さかさま不動産：物件を借りて挑戦したいことがある人の想いを可視化して貸主を募集するサービス

■上回転研究所について

廃棄問題に関心を持つ若者や企業等が集まるアップサイクルコミュニティです。立派な設備や専門知識がなくてもまるで料理をするように開発を行うのが特徴です。

関わる人一人一人が廃棄物の分別を徹底かつ減量化する努力を行い、最終的にはゴミ箱が不要になる社会を目指しています。

■素材デザイナー村上結輝について

株式会社On-Co 上回転研究所 所長

コロナ禍を機に大量生産大量消費の中で暮らしていた自分の生活を見直すようになり芸術大学の卒業制作でバナナ皮からレザー素材を開発。

身近な廃材を美しい素材に生まれ変わらせることで、アップサイクルの考え方や可能性を感じてもらい、社会課題を「自分ごと化」するきっかけを創出している。



■一般社団法人〇と編集社

代表：赤羽孝太

創業：2018年10月

住所：長野県上伊那郡辰野町辰野1705-1

電話：090-7193-3589 | 0266-88-9198

メール：revision@maruto.or.jp

HP：<https://maruto.or.jp/>

その〇に入る人やまちと一緒に伴奏をしてスポットライトを当て、〇の未来にワクワクする人を増やすことをミッションに掲げ、辰野町の事業創出、空き家を含めた不動産運営、クリエイティブディレクションなどを行う。

■株式会社On-Co

代表：水谷岳史/藤田恭兵

創業：2019年3月

住所：三重県桑名市西別所1375

HP：<https://on-co.jp/>

ミッションは関わる人々の主体性を向上させ、挑戦が溢れる面白い世の中をつくること。さかさま不動産や丘漁師組合、上回転研究所などのプロジェクトを展開している。

本件に関するお問い合わせ

窓口：福田

TEL ☎：080-5984-7800

mail ✉：support@on-co.co